



規制改革会議 御中

資料 5

「補足資料」

2008.8.6

CREDIT SAISON CO., LTD.

H. RINNO

I . 日本の首相在任期間及び各国との比較



※日本/イギリス/ドイツは首相、アメリカ/フランス/ロシア/韓国は大統領、中国は国家主席。(カッコ内は直近20年間の就任人数)
 ※ドイツは1990/10/3まで西ドイツ、ロシアは1991/12/25までソ連。



Ⅱ．世界経済・日本経済に何が起こっているか

- ① 世界経済の牽引役はAsiaを中心とする発展途上国へ
- ② サブプライム・ローンを発端とする世界経済の停滞
- ③ 日本は銀行・企業・個人共に健全で優位に立つ可能性
- ④ 政局混迷による構造改革・成長政策の後退
- ⑤ 企業業績回復の一方で再編成・企業間格差
- ⑥ デフレ経済・ゼロ金利の終焉 資産運用・資産形成へのシフト
- ⑦ 資源価格・農水産物価格高騰を背景にインフレ加速
- ⑧ 失業率の低下から人手不足・雇用流動化・地域間格差
- ⑨ 就業構造変化により盛り上がり欠ける個人所得・個人消費
- ⑩ 消費者保護を大義名分とした規制社会化(規制不況)
- ⑪ 株主に立脚した経営の定着(四半期決算・配当性向・自社株買い)
- ⑫ 株式市場・不動産市況は長期的には上昇するも '08、'09年は停滞か